

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	科学実験教室「超低温の不思議な世界&リニア」
事業主体 (連絡先)	南信州飯田おもしろ科学工房
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	528,984 円

事業内容

学校、地域などで科学実験教室を合計10回開催。
液体窒素を使って、花や風船など身近なものを凍らせる実験や、超電導体の不思議を体験する実験を行いました。リニア中央新幹線の超電導磁石・浮上・推進の原理もデモキッドを使って説明しました。超電導リニア中央新幹線の駅ができる飯田だからこそ取り組みたい実験ができました。



【磁石が浮上する不思議体験】

【目標・ねらい】

- ①子どもたちに科学の不思議や楽しさに触れてもらう。
- ②学校・地域が連携した取り組みが行われる。
- ③リニア中央新幹線をテーマにした実験から、将来の自分を考える学習活動につながる。

事業効果

- ①子どもたちに科学の楽しさや不思議さを伝えることを目的に活動しているおもしろ科学工房的活動を発展させ取り組むことができました。
- ②おもしろ科学工房が講師として学校で科学実験教室を行い、地域の方々がスタッフとしてサポートを行う体制が整いつつあり、学校と地域が一緒になって、子どもを育てる取り組みにつながりました。
- ③リニア中央新幹線開業まで10年をきり、関心が高まる中、実験を通して子どもたちにリニアの原理を伝え、そこから地域や自分たちの将来を考えるきっかけづくりができました。

※自己評価【 A 】

【理由】

リニアの駅ができる飯田市だからこそ取り組みたい実験が、元気づくり支援金を活用したことで、多くの要望に対応でき、効果を得ることができた。

今後の取り組み

昨年度までこの実験に必要な超電導体は、特殊なものであるため、国際超電導産業技術研究センター (ISTEC) から借用して対応してきましたが今年度から借用できなくなり、実験の継続が難しくなったことから、元気づくり支援金を活用して整備をしました。これにより、今年度は学校や地域において、「超低温の不思議な世界&リニア」をテーマにした科学実験教室を10回開催することができました。また、借用では、費用や実施の期間の制約などの問題がありましたが、年間を通して学校や地域からの要望に応えることができるようにもなりました。今後は、こうした実験教室をきっかけに、学校と地域との連携が進み、多くの子どもたちに科学の不思議や楽しさに触れてもらう場の提供をしていきたいと考えています。